

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京本部(新宿住友ビルディング)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	6	3	-	0	2	4	1	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	西新宿2-6-1新宿住友ビルディング41F									
事業所等の延床面積	1,523.87 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分		<input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部			<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)			<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所			<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)				
	<input type="checkbox"/> 工場			<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店		<input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	87 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	87 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	57.0	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	229,952.0	9.97	2,292.6	0.382	87.8
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑪
合計					⑪	2,292.6		⑪	87.8
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑪	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	コンタクトセンター企画部(聖路加ガーデン・聖路加タワー)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	6	5	9	1	区市町村名	中央区
	町名番地 以下	明石町8-1聖路加ガーデン・聖路加タワー10F、33F									
事業所等の延床面積	2,484.77 m ²			事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	98	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	145 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	145 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	58.3	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/> Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/> kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/> L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/> MJ	184,330.0	1.36	250.7	0.052	9.6	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/> MJ	470,340.0	1.36	639.7	0.052	24.5	
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/> kWh	292,234.5	9.97	2,913.6	0.382	111.6
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	^㉞ 0.0	9.76	^㉞ 0.0	0.382	^㉞ 0.0	
合計					^㉞ 3,803.9		^㉞ 145.7	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							^㉞ 0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	営業事務部(東京YWCA会館)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	2	区市町村名	千代田区
	町名番地以下	神田駿河台1-8-11東京YWCA会館4F、5F、6F、7F									
事業所等の延床面積	2,922.71 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	73	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	109 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	109 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	37.2	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/>	MJ	579,624.0	1.36	788.3	0.052	30.1	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/>	MJ	570,713.0	1.36	776.2	0.052	29.7	
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	129,903.0	9.97	1,295.1	0.382	49.6
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		<input type="checkbox"/>	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬	0.0
合計					⑭	2,859.6		⑮	109.4
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200		0.0
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450		0.0
合計								⑯	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	損害サポート業務部(御茶ノ水杏雲ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	2	9	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	2	区市町村名	千代田区
	町名番地以下	神田駿河台2-2御茶ノ水杏雲ビル2F、6F、11F									
事業所等の延床面積	2,261.24 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)			<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他							
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	2013年4月904.5m ² 増床(1356.74m ² →2261.24m ²) 2Fは2013年10月4日退去(2261.24m ² →1582.88m ²) 2014年3月31日全居室退去										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	76 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	76 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	33.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	1,606.6	45.00	72.3	0.014	3.7	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/>	MJ	101,279.0	1.36	137.7	0.052	5.3	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/>	MJ	437,726.0	1.36	595.3	0.052	22.8	
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	116,956.0	9.97	1,166.1	0.382	44.7
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		<input type="checkbox"/>	kWh	⑭	0.0	9.76	⑮	0.0	
合計					⑮	1,971.4	⑮	76.4	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑮	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MS&ADシステムズ(新宿YSビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	6	2	-	0	0	6	5	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	住吉町9-5新宿YSビルB1F、1F、2F、3F、4F、5F									
事業所等の延床面積	2,914.08 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input type="checkbox"/> 1年度分		<input checked="" type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部			<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)			<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所			<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)				
	<input type="checkbox"/> 工場			<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店		<input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
前年度の報告内容からの変更点	2014年2月28日に解約										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	111	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	169 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	169 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	8,718.3	45.00	392.3	0.014	19.9	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	392,527.0	9.97	3,913.5	0.382	149.9
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合計					⑪	4,305.8	⑪	169.8	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑪	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MS&AD事務サービス(北八王子キャンパスビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	9	2	-	8	5	1	0	区市町村名	八王子市
	町名番地以下	高倉町9-1北八王子キャンパスビル1F、2F、3F、4F									
事業所等の延床面積	5,478.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部			<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)			<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所		<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)					
	<input type="checkbox"/> 工場		<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店		<input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑬×0.0258)	①	284	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑭)	②	444 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	444 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	81.0	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)	⑥	81.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/> Nm ³	23,911.2	45.00	1,076.0	0.014	54.4	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/> kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/> L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/> kWh	1,021,195.0	9.76	9,966.9	0.382	390.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計					⑬ 11,042.9	⑭	444.5	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.450	0.0	
合計						⑮	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C508	空室・不在時等の空調停止
設備保守対策					
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	金融公務営業推進本部(住友生命四谷ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	7	
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	0	0	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	本塩町8-2住友生命四谷ビルB1F、1F、2F、3F									
事業所等の延床面積	1,026.08		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分	<input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部		<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)			<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所		<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)					
	<input type="checkbox"/> 工場		<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店	<input type="checkbox"/> 加盟店	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	57 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	57 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	55.5	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	3,077.8	45.00	138.5	0.014	7.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	131,153.0	9.97	1,307.6	0.382	50.1
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		<input type="checkbox"/>	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬	0.0
合計					⑭	1,446.1		⑮	57.1
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑯	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京本部(興和一橋ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	5	4	区市町村名	千代田区
	町名番地以下	神田錦町3-7-1興和一橋ビル6F、10F									
事業所等の延床面積	1,992.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分	<input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部		<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)			<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所		<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)					
	<input type="checkbox"/> 工場		<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店	<input type="checkbox"/> 加盟店	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	47	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	71 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	71 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	35.6	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	186,103.0	9.97	1,855.4	0.382	71.1
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	^㉞ 0.0	9.76	^㉞ 0.0	0.382	^㉞ 0.0		
合計					^㉞ 1,855.4		^㉞ 71.1		
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							^㉞ 0.0		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動</p>
--

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MSK安心ステーション(住友不動産四谷ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	0	7	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	荒木町13-4住友不動産四谷ビル2F、3F									
事業所等の延床面積	2,022.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分			<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	213	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	316 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	316 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	156.2	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	829,006.0	9.97	8,265.2	0.382	316.7
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		<input type="checkbox"/>	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計					⑬	8,265.2	⑭	316.7	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑮	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経理部(一ツ橋ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	0	3	区市町村名	千代田区
	町名番地以下	一ツ橋2-6-3一ツ橋ビル3F、4F									
事業所等の延床面積	1,188.75 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成25年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑬×0.0258)	①	34	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑭)	②	50 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	50 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	42.0	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)	⑥		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/> Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/> kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/> L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/> kWh	132,237.4	9.97	1,318.4	0.382	50.5
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計					⑬	1,318.4	⑭	50.5
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.450	0.0	
合計						⑮	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動